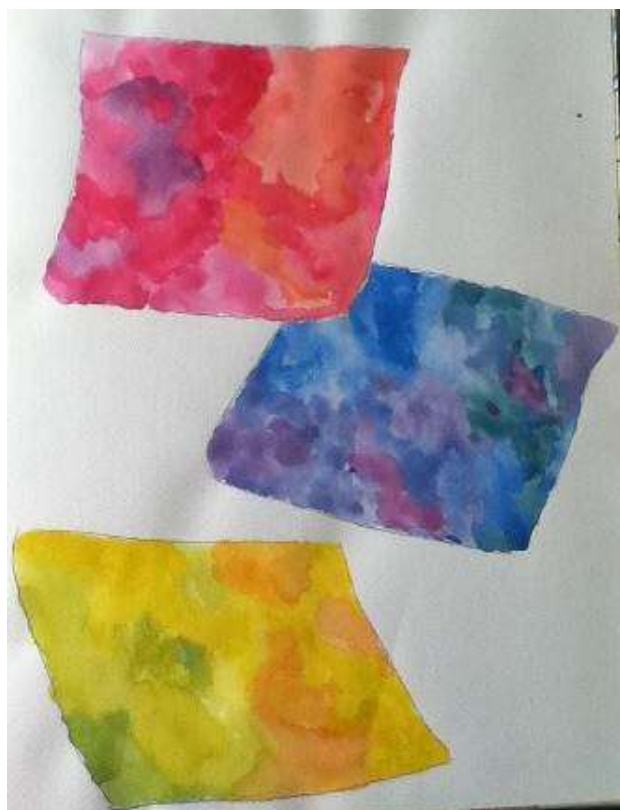


# 「主調色の基礎基本」

TOSS 大阪みおつくし 神谷 祐子



- ① 赤色の単色、橙色（赤+黄）、赤紫色（赤+青）で彩色。
  - 1) 一度塗ったところは、その上から色を重ねて塗らない。
  - 2) ゆっくりと、ていねいに色を塗る。
  - 3) 赤の筆、橙の筆、赤紫の筆、+ 水の筆 最低4本は必要。
  - 4) 色を変えて塗る時、前に塗った色が半乾きのときに、次の色を塗る。
  - 5) 彩色は、隣へ、隣へと進めていく。
- ② 青の単色、青緑（青+黄）、青紫（青+赤）
- ③ 黄の単色、黄橙（黄+赤）、黄緑（黄+青）  
注) 黄色は淡い色なので絵の具を多めに入れること。

## 子どもたちの絵を成功させる秘訣

- ① とにかく、ほめて、ほめて、ほめまくる。
- ② 1度に長い時間をかけすぎない。子どもが「もっと描きたい」と思うところで終わらせる。
- ③ 教師が筆をたくさん用意しておく。また、ティッシュやサインペンも多めに用意する。
- ④ 教師がいろいろなバージョンを描いてみる。それが無理なときは、最低1枚。でも、他の参考になる絵をネットや教師仲間から借りて、いろいろなイメージを膨らませる。
- ⑤ 描かせる紙もあらかじめチェックする。どうしても、色のうまく出ない紙もあるので要注意。
- ⑥ 教師の指示に従わせる強さも必要  
例えば、今は筆を置きなさい。かたつむりの線で、ゆっくり描くのですよ。  
描き直しはできません。(その代わりに、子どもが失敗したと思っている絵を何とか生かして次につなげる。)

## 彩色の際の注意点

- ① 筆に絵の具の汚れがついていないこと。同様に、パレットにも汚れが残っていないこと。
- ② 筆洗の使い方を徹底させる。  
(1 筆の汚れをティッシュか雑巾でぬぐう 2 洗う 3 すすぐ )
- ③ 筆洗には、必ず透明の水（命の水）を残しておく。
- ④ 筆のチェック（傷んでいる筆、プラスチックの毛の筆、平筆 等、筆によって質感や透明感が出ないときが多いので、子どもの使っている筆には細心の注意が必要)
- ⑤ ゆっくり、丁寧に塗っているか。画用紙を傷めるような「こすりつけ塗り」をしていないか。
- ⑥ 4本以上の筆を上手に使っているか。